

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 7 月 3 日

評価対象事業		評価者	こども相談課長 平井 あかね		
こども-17	実施事業	児童福祉運営事業	自治事務	主管課	こども相談課
	まち・ひと・しごと		法定受託事務	関連課	こども相談課みらい課、保育課
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	すべての子育て家庭への支援	

1 事業の目的

対象	児童等
意図	児童福祉事業の円滑な執行を図るため。
効果	児童福祉事業が適切に実施される。

2 平成28年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> こどもと家庭に関する相談窓口「こどもと家庭の相談室」の運営を行った。 前年に引き続き、相談事例に専門的な見地から指導助言ができる要保護児童相談助言者を配置した。 ふるさと寄附金等を遺児福祉基金に積み立てた。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯		・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	12,878	14,077	当初予算(千円)	15,102			
	国県支出金		4,185	国県支出金	4,185			
	地方債			地方債				
	その他	2,930	5,205	その他	5,118			
	一般財源	9,948	4,687	一般財源	5,799			
	人員配置数	1.3	1.3	人員配置数	1.3			
事業経費運営	人件費(千円)	10,479	10,291	人件費(千円)	10,213			
	総事業費(千円)	23,357	24,368	総事業費(千円)	25,315			
	市民1人当りの経費(円)	132	138	市民1人当りの経費(円)	143			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	9. 実施が義務付けられており(法廷受託事務等)、ニーズに応じて実施する事業ではない
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
有 効 性	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
公 平 性	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、協働はなじまない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	
					事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	こどもと家庭の相談室に寄せられた相談等に適切に対応することにより、児童虐待の予防及び早期発見に努めるとともに、子育てにストレスを抱えている保護者を支援する講座等を継続的に実施し、児童虐待が起りにくい環境を整備していく。		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	こどもと家庭の相談室に寄せられる相談内容は、児童虐待に関するものを含め多様であり、また関係機関等との連携が必要な案件も増加している。児童虐待が起りにくい環境づくりをはじめとして、子育て環境の向上のため、相談室の質、体制をより充実しながら、今後も事業を継続していく。
-------------------	--

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	こどもと家庭の相談室に寄せられる相談内容は多種多様であり、中でも、児童虐待に係る相談は年々増加傾向で、かつ関係機関等との連携が求められるケースが多くなっていることから、対応する職員は、より高度で専門的な資質や調整力が求められるところである。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	研修参加等により、職員及び非常勤嘱託員(相談員)の専門知識向上に努めた。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	上記のとおり、こどもと家庭の相談室に寄せられる相談内容は多種多様であり、中でも、児童虐待に係る相談は年々増加傾向で、かつ関係機関等との連携が求められるケースが多くなっていることから、対応する職員は、より高度で専門的な資質や調整力が求められるところである。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	虐待相談件数(H28年度分・鎌倉三浦児童相談所所管市町に確認)							
団体名	鎌倉市	逗子市	三浦市	葉山町				
他市実績	179	65	29	25				
比較事項								
団体名								
他市実績								
比較事項								
団体名								
他市実績								
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	市町の規模が違い、一概に比較できないが、本市同様、各市町ともに横ばいまたは増加傾向にある(逗子市は件数的には微減とのことだが、延べ人数として横ばいとのこと)。この状況を考慮しても、今後の相談室体制の強化が必須であると考え。							

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	こどもと家庭の相談室の相談件数						単位	件	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
児童虐待相談体制の充実を図るため	目標値	400	400	400	400	400	400				
	実績値	380	434	386							
	達成率	95.0%	108.5%	96.5%							
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	昨年に比べ、相談件数は減少しているが、過去5年間(平成23~27年度)の推移をみると、「23年度:407件、24年度:471件、25年度:386件、26年度:380件、27年度:434件」と、年度ごとに増減があり、今後も相談件数が増加することも十分に考えられる。今後も「こどもと家庭の相談室」を継続して運営していくとともに、さらなる充実を図るため、体制強化について検討を行う。										